

変更契約の調書

工 事 名 市道川樋線 側溝整備工事

当初

施 工 場 所 南陽市 川樋 地内

請 負 業 社 名 株式会社イトウ

工 事 種 別 土木一式

工 事 概 要 側溝整備工事 $\Sigma L=59.4m$

- 土工：N=1式
- 排水工：（側溝）L=58m （集水柵）N=1基
- 舗装復旧工：N=1式
- 撤去工：N=1式
- 仮設工：N=1式

契 約 金 額 5,940,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）

工 期 着工 令和6年6月6日

完成 令和6年9月30日

第1回変更

変 更 年 月 日 令和6年8月27日

変 更 金 額（変 更 後） 7,784,700 円（消費税及び地方消費税を含む。）

工 期（履 行 期 間） 完成 令和6年9月30日

変 更 理 由 下記の理由により変更のうえ実施したい。

1.排水工

市道川樋東線の接続について、集水柵嵩上に伴い、勾配が急になることから走行性をよくするため、側溝工を増工して実施したい。

○側溝工	【当初】	【変更】
・勾配調整側溝(300×900)	L=4.0m	N=8.0m (N=4.0m増)

2.付属水路工

本路線の施工に伴い、水路管理者と協議したところ、現状土水路箇所の水路整備が必要とのことで今般の事業効果向上のため、付属水路工として増工のうえ変更し万全に努めた

○側溝工	【当初】	【変更】
・ベンチフリューム(400×300)	L=0.0m	L=30.0m (L=30.0m増)

3.集水柵工

現地再調査の結果、接続予定だったヒューム管の接続が不要になったことから、当初ヒューム管の接続として集水柵を計上していたが、本工事より減工して実施したい。

○集水柵工	【当初】	【変更】
・現場打ち集水柵(1200×600×1000)	N=1基	N=-基 (N=1基減)
・柵用鋼製溝蓋(600×1200)	N=1組	N=-基 (N=1組減)

4.舗装工について

現地再調査の結果、当該路線の施工箇所外においても舗装の劣化が見られ、計画している側溝との擦り付けを考慮し、表層工を増工のうえ対応したい。

○舗装工	【当初】	【変更】
・表層工(再生密粒度As13F、t=40mm)	A=110.0㎡	A=296.0㎡ (A=186.0㎡増)
・オーバーレイ(再生密粒度As13F、t=30mm)	A=-㎡	A=11.0㎡ (A=11.0㎡増)

5. その他、現地に適合するよう軽微な変更を実施したい。